

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2025年7月31日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)学生活動支援機構長
古川 靖洋
(学生活動支援機構)

1. 長期戦略のテーマ

超長期ビジョン	長期戦略（テーマ名）	統轄部署
1 学士課程教育	(8) 正課外教育の推進	学生活動支援機構
内容 新たな時代に求められている資質のうち、自律的に行動する力など汎用的能力や態度・価値については、正課教育だけでなく、正課以外の大学の多様な活動・環境（課外活動や社会体験、寮生活、異文化交流など）によって涵養されることが研究によって明らかになってきている。学士課程の目的である DP に基づく学修成果の修得に加え、一段高いコンピテンシー（社会で活躍する能力）を付加的に獲得するこうした活動・環境を「正課外教育」として位置付け、大学教育の全体像を正課教育と正課外教育の統合という新しい文脈で捉え直す。 その第一歩として、本大学のスポーツ活動（体育会）と文化・芸術活動等（文化総部、新聞総部、宗教総部、総部放送局、応援団総部）について、「学生の自主活動」を尊重しつつ、「大学の責任に基づく教育プログラム」へと発展させ、以下の（1）（2）を実現する。 （1）クラブ活動自体のプログラム化 クラブ活動において、自ら目標を掲げて指導者や仲間とともに努力を重ね、練達する過程において、チームワークやリーダーシップ、問題発見・解決能力等の汎用的能力を獲得する、教育的価値の高いプログラムとして再構築する。 （2）クラブ関連教養プログラムの開設 クラブ活動に関する教養（当該スポーツ・文化の歴史、哲学、社会学、心理学、マネジメント等）、キャリア形成支援、ボランティア・地域貢献、国際交流支援等のプログラムの開設を、既存の教育分野と調整しながら検討する。 上記の項目を推進するにあたり、喫緊の課題であるスポーツ活動から取り組み始める。統括する部署「スポーツ振興・統括課」を新たに設け、必要な人員体制を整備して、まず以下の基礎条件を確立する。 （1）安全性・健全性の確保 学生部員の安全を守り、心身ともに健康を保つ。また、学生の指導について、大学として基本方針を定め、指導者の体制を整備し、指導方法（コーチング）の向上に取り組む。また、会計を含めた運営を透明化する。 （2）学業優先の原則確立 競技者である前に学生として学業（正課）を優先する“Student-Athlete”であるという原則を確立する。その際、学業成績に基づく練習・試合の出場制限をルール化するとともに、チューター制等による学修支援を強化する。 （3）スポーツ選抜入試と入学前教育 スポーツ選抜入試およびその合格者の入学前教育によって、受入段階で基礎学力をより厳密に担保する。 上記の実績を見ながら、順次、文化系活動、寮生活、ボランティア、さらには多様なサークル活動等の教育プログラムへの発展について検討する。 【フェーズⅡに向けた課題】 ・ KGAD 加盟団体への財政支援と、強化指定クラブ制度との重複の検討（前者は大学、後者は法人という切り分けを想定） ・ KGAD 参加クラブの諸活動の状況や成果を学内外に提供するコミュニケーションツールの検討 ・ e スポーツ部創設の可能性検討		

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2025 年 7 月 31 日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)

学生活動支援機構長
古川 靖洋
(学生活動支援機構)

【フェーズⅡの Total Review】

- ・ 2021 年競技スポーツ局 (KGAD) 発足後、体育会各部との丁寧なコミュニケーションにより、加盟団体数を増加させている。
- ・ 修学支援プログラムの検証・改善により、正課教育との両立を促進できている。
- ・ Kwansei コンピテンシーの修得度を指標に取り入れ、一定の効果検証が可能な枠組みを導入した。
- ・ 指導者や部員を対象にしたセミナー・研修会を開発・実施し、安全性及び健全性の確保を推進している。
- ・ 特設サイトや動画コンテンツ配信等による学内外への広報強化に加え、企業等とのパートナー協定を締結。
- ・ スポーツ以外の文科系クラブへの対応は着手できていない。

【フェーズⅢに向けた課題】

- ・ 体育会全 42 部の KGAD 加盟をめざして、未加盟団体とのコミュニケーションを図る。
- ・ 各種の学びの機会を体系的プログラムとして整理・可視化した上で、Kwansei コンピテンシーとの関連性を分析する。
- ・ 正課外活動の成果をキャリア形成と紐づける仕組みの検討が必要。
- ・ 各部の活動に対する学外からの支援拡大を図る。
- ・ 指定強化クラブ制度による支援のあり方 (目的・趣旨等) の再確認及び KGAD 制度による支援との整理が必要
- ・ スポーツ以外の文化系クラブへの制度導入に着手する。

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2025年7月31日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)学生活動支援機構長
古川 靖洋
(学生活動支援機構)

指標 1

指標	内容					
指標名	体育会と、その他 4 5 総部（文化総部、新聞総部、宗教総部、総部放送局、応援団総部）に所属する学生（以下、スポーツ、文化・芸術の課外クラブに所属する学生）の Kwansei コンピテンシー（①主体的に行動する力、②豊かな人間関係を築く力、③困難を乗り越える粘り強さ）の習得度					
定義・算式	総合企画部 IR 室にて調査が行われている新入生アンケート結果と卒業時調査結果の Kwansei コンピテンシー3 項目（①主体的に行動する力、②豊かな人間関係を築く力、③困難を乗り越える粘り強さ）の習得度 （算式） 上記3項目で「大変身についている」「やや身についている」と答えた者の割合の合計値を指標とし、体育会所属学生とその他 5 総部所属学生とで比較する。 * 2019 年度は 5 件法、2022 年度は 4 件法で調査を行っている。					
現状値 (指標設定時)	2019 年度入学、2022 年度卒業(残留生除く)の「大変身についている」「やや身についている」と答えた者の割合の合計値 ①体育会、応援団総部：(入学時) 78.9% (卒業時) 92.0% その他 4 総部：(入学時) 65.0% (卒業時) 87.4% ②体育会、応援団総部：(入学時) 49.7% (卒業時) 87.1% その他 4 総部：(入学時) 43.7% (卒業時) 79.9% ③体育会、応援団総部：(入学時) 60.7% (卒業時) 86.8% その他 4 総部：(入学時) 45.6% (卒業時) 78.4%					
目標値	フェーズ 1 終了時 (2021 年度)		フェーズ 2 終了時 (2024 年度)		フェーズ 3 終了時 (2027 年度)	
	(現在値を確認した上で設定)		(卒業時) ①体育会：95.0% その他 5 総部：87.4% (現状値) ②体育会：90.0% その他 5 総部：79.9% (現状値) ③体育会：90.0% その他 5 総部：78.4% (現状値)		(卒業時) ①体育会：97.0% その他 5 総部：87.4% (現状値) ②体育会：92.0% その他 5 総部：79.9% (現状値) ③体育会：92.0% その他 5 総部：78.4% (現状値)	
実績値	2019 年度	N/A	2022 年度	①体育会、応援団総部：92.0% その他 4 総部：87.4% ②体育会、応援団総部：87.1% その他 4 総部：79.9% ③体育会、応援団総部：86.8% その他 4 総部：78.4%	2025 年度	N/A
	2020 年度	N/A	2023 年度	①体育会：93.3% その他 5 総部：89.7% ②体育会：91.0% その他 5 総部：86.7% ③体育会：89.7% その他 5 総部：86.2%	2026 年度	N/A
	2021 年度	N/A	2024 年度	①体育会：93.9% その他 5 総部：90.1% ②体育会：91.1% その他 5 総部：90.7% ③体育会：91.1% その他 5 総部：87.4%	2027 年度	N/A

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2025 年 7 月 31 日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)

学生活動支援機構長
古川 靖洋
(学生活動支援機構)

指標 2

指標	内容					
指標名	スポーツ、文化・芸術の課外クラブに所属する学生の学業成績					
定義・算式	① 体育会およびその他 5 総部所属学生数のうち、体育会出場資格基準 2 および 3（卒業に 5 年超を要するペースで単位を修得している）に抵触する学生の割合 ②（①の内数）体育会およびその他 5 総部の全所属学生数のうち、体育会出場資格基準 3（卒業に 6 年超を要するペースで単位を修得している）に抵触する学生の割合					
現状値 (指標設定時)	① 体育会、応援団総部：5.7% その他 4 総部：4.9% ※全学生で 6 年以上在籍しているのは 3.7%（2017 年春学期終了時） ② 体育会、応援団総部：2.9% その他 4 総部：2.9% ※全学生で 7 年以上在籍しているのは 1.4%（2017 年春学期終了時）					
目標値	フェーズ 1 終了時（2021 年度）		フェーズ 2 終了時（2024 年度）		フェーズ 3 終了時（2027 年度）	
	① 体育会、応援団総部 5.2%（その他 4 総部はフェーズ 2 終了時より実施） ② 体育会、応援団総部 2.5%（その他 4 総部はフェーズ 2 終了時より実施）		① 体育会、その他 5 総部ともに 4.6% ② 体育会、その他 5 総部ともに 1.5%		① 体育会、その他 5 総部ともに 4.0% ② 体育会、その他 5 総部ともに 1.0%	
実績値	2019 年度	①1.78% ②0.82%	2022 年度	①2.66% ②1.48%	2025 年度	
	2020 年度	①1.65% ②1.00%	2023 年度	①2.61% ②1.02%	2026 年度	
	2021 年度	①2.40% ②1.25%	2024 年度	①2.78% ②1.20%	2027 年度	

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2025年7月31日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)学生活動支援機構長
古川 靖洋
(学生活動支援機構)

指標3

指標	内容					
指標名	スポーツ、文化・芸術の課外クラブに所属する学生の就職状況					
定義・算式	有名400社比率(体育会とその他5総部) 就職(400社)÷就職 ※就職者のうち、400社に就職した人の割合					
現状値 (指標設定時)	体育会、応援団総部: 49.6%、その他4総部: 22.0% (2016年度2017年3月卒業生)					
目標値	フェーズ1終了時(2021年度)		フェーズ2終了時(2024年度)		フェーズ3終了時(2027年度)	
	①体育会、応援団総部: 現在値同水準 ②その他4総部: 25.0%		①体育会: 現在値同水準 ②その他5総部: 30.0%		①体育会: 現在値同水準 ②その他5総部: 35.0%(全学値と同じ)	
実績値	2019年度	①41.3% ②17.2%	2022年度	①34.2% ②17.6%	2025年度	
	2020年度	①34.5% ②10.8%	2023年度	①41.0% ②22.6%	2026年度	
	2021年度	①38.9% ②15.1%	2024年度	①43.0% ②19.2%	2027年度	

指標4

指標	内容					
指標名	スポーツ、文化・芸術の課外クラブに所属する学生の内定先の満足度					
定義・算式	内定先の満足度(就職決定時のアンケート)の設問に対して「大変満足」「大体満足」「あまり満足していない」「全く満足していない」の4段階評価のうち「大変満足」と回答した比率(体育会とその他5総部)					
現状値 (指標設定時)	体育会: 51.5%、その他5総部: 43.2% (2016年度2017年3月卒業生)					
目標値	フェーズ1終了時(2021年度)		フェーズ2終了時(2024年度)		フェーズ3終了時(2027年度)	
	①体育会、応援団総部: 52.0% ②その他4総部: 44.0%		①体育会: 54.0% ②その他5総部: 46.0%		①体育会: 56.0% ②その他5総部: 48.0%	
実績値	2019年度	①52.7% ②53.8%	2022年度	①62.5% ②48.4%	2025年度	
	2020年度	①58.1% ②46.8%	2023年度	①55.0% ②52.2%	2026年度	
	2021年度	①61.1% ②44.7%	2024年度	①54.1% ②48.4%	2027年度	

指標5

指標	内容					
指標名	スポーツ、文化・芸術の課外クラブに所属する学生の活動成績・実績					
定義・算式	関西学院後援会表彰を受けるクラブ(団体)、所属員(個人)の数					
現状値 (指標設定時)	体育会、応援団総部: 全国制覇 団体: 2団体 個人: 5名、関西制覇 団体: 10団体 個人: 44名 その他4総部: 全国制覇 団体: 1団体 (2017年度)					
目標値	フェーズ1終了時(2021年度)		フェーズ2終了時(2024年度)		フェーズ3終了時(2027年度)	
	①体育会、応援団総部: 現在値同水準 ②その他4総部: 現在値同水準		①体育会: 現在値同水準 ②その他5総部: 現在値同水準		①体育会: 現在値同水準 ②その他5総部: 現在値同水準	
実績値	2019年度	①全国制覇 団体2団体 個人5名 関西制覇 団体3団体 個人31名 ②全国制覇 団体1団体	2022年度	①全国制覇 団体3団体 個人6名 関西制覇 団体6団体 個人35名 ②全国制覇 団体1団体	2025年度	
	2020年度	①全国制覇 団体1団体 個人2名 関西制覇 団体5団体 個人27名 ②該当無し	2023年度	①全国制覇 団体3団体 個人9名 関西制覇 団体8団体 個人33名 ②全国制覇 団体1団体	2026年度	
	2021年度	①全国制覇 団体2団体 個人9名 関西制覇 団体4団体 個人32名 ②全国制覇 団体1団体 関西制覇 団体1団体	2024年度	①全国制覇 団体3団体 個人8名 関西制覇 団体3団体 個人40名 ②該当無し	2027年度	

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2025年7月31日

 長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)

 学生活動支援機構長
古川 靖洋
(学生活動支援機構)

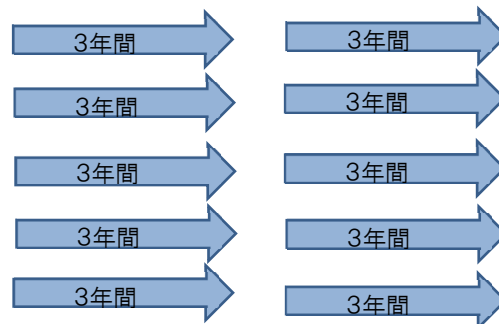
2. 実施計画ロードマップ

実施計画		担当部署	学部・研究 科での 取組み有/無	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
①	正課外教育のプログラム化 (スポーツ)	学 生 活 動 支援機構	必要なし	3年間			3年間			3年間		
②	正課外教育のプログラム化 (スポーツ以外)	学 生 活 動 支援機構	必要なし					2年間		3年間		
③			必要の有無 を選択ください。									
④			必要の有無 を選択ください。									
⑤			必要の有無 を選択ください。									
⑥			必要の有無 を選択ください。									
⑦			必要の有無 を選択ください。									
⑧			必要の有無 を選択ください。									
⑨			必要の有無 を選択ください。									
⑩			必要の有無 を選択ください。									
【備考欄】												

※想定される実施計画の例示

- ①. スポーツ活動を統括する部署「スポーツ振興・統括課」を学
生活動支援機構の下に設置
- ②. 基本方針に基づく具体的な施策の立案
- ③.
- ④.
- ⑤.
- ⑥.
- ⑦.
- ⑧.
- ⑨.
- ⑩.

※ロードマップ策定作業用記号



I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2025 年 7 月 31 日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)

学生活動支援機構長
古川 靖洋
(学生活動支援機構)

3. 本長期戦略テーマの各実施計画に関する費用、人員の合計 (2019 年度～2027 年度)

◆フェーズⅠ：2019 年度～2021 年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

◆フェーズⅡ：2022 年度～2024 年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2022 年度	2023 年度	2024 年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

◆フェーズⅢ：2025 年度～2027 年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2025 年度	2026 年度	2027 年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2025 年 7 月 31 日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)学生活動支援機構長
古川 靖洋
(学生活動支援機構)

4. 進捗状況等記入欄

	進捗状況および今後の課題、方向性
2019 年度	2019 年度はスポーツ振興・統括課を新たに設けた。また、体育会との合意により、Academic Eligibility for KG athletes を導入した。これにより、指標 2 については、良好な水準となった。今後は、学生スポーツ活動を統括する競技スポーツ局を設立し、正課外教育の土台を創出する。
2020 年度	競技スポーツ局 (KGAD) 設立を 1 年早めたことから、2020 年度は規程等を作成し説明会を実施した。また、設立に先立ち 3 月に加盟審査を実施し 6 競技 8 チームの加盟を承認した。KGAD 運営については、MG スポーツ株式会社と共同運営することが決まり、今後は MG スポーツとも連携し教育プログラム等を策定する。
2021 年度	2021 年 4 月、競技スポーツ局 (KGAD) を創設した。競技スポーツおよび関連する活動を通じて、本学の教育理念を体现する学生を育成することを使命とし、安全性の確保、健全性の確立、正課教育 (学業) との両立、競技力の向上、大学スポーツ界および地域社会への貢献などの施策を企画・実施し正課外教育の実現を目指す。初年度の加盟団体数は 15 団体 19 チームとなった。MG スポーツ株式会社とも連携し、KGAD Web サイトを創設と共に立ち上げ、6 月には学生広報チームを組織し、公式 You Tube チャンネルで番組「KG スポーツスターズ」のライブ配信を含め、体育会各部のスポーツ取材、番組制作など行った。
2022 年度	2022 年度末時点で 20 競技 26 チーム (学生本部含む) が競技スポーツ局 (KGAD) に加盟しており、加盟競技・チーム数は増加している。一方、各部の状況は様々であるため、非加盟団体とは順次面談等を実施し、加盟に向けての調整を進めている。引き続き各部、体育会監督会、KGAA と連携を取りながら KGAD への加盟及び実効性の向上に努める。2023 年度には「KGAD セミナー」等のプログラムを実施し、「正課外教育のプログラム化」に本格的に着手する。
2023 年度	2023 年度末時点で 24 競技 37 チーム (学生本部含む) が競技スポーツ局 (KGAD) に加盟しており、加盟競技・チーム数は増加している。非加盟団体に対しては体育会監督会などの機会も利用し、KGAD の方針・活動を理解していただけるよう努めている。また、非加盟団体それぞれの加盟に対する障壁をヒアリングし、制度上改善が必要な事項は順次改善を行っている。2023 年度は「KGAD セミナー」を 15 回実施し、のべ 430 名の参加があった。2024 年度は本取り組みを体系的に整理してオープンバッジを発行する仕組み (「KGAD オープンバッジ認定制度 (仮称)」) を構築する。
2024 年度	2024 年度末時点で 30 団体 (学生本部含む) が競技スポーツ局 (KGAD) に加盟しており、加盟団体数は年々増加している。未加盟団体に対しては、2025 年 1 月～3 月にかけて監督と KGAD とで面談を実施し、現状確認と今後の展望についてヒアリングを行った。また体育会監督会などの機会も利用し、KGAD の方針・活動を理解していただけるよう努めている。2024 年度は「KGAD セミナー」を 8 回実施し、のべ 754 名の参加があった。2025 年度からは本取り組みを体系的に整理したオープンバッジを発行する仕組み「KGAD オープンバッジ認定制度」をスタートさせる。
2025 年度	
2026 年度	
2027 年度	